



【今帰仁村】特別養護老人ホーム乙羽園の取り組みについて紹介



～特別養護老人ホーム乙羽園～

沖縄県今帰仁村の自然豊かな天底地区にある介護福祉施設です。

1987年の開設以来、社会福祉法人乙羽会が運営し、要介護3以上の高齢者を対象に、日常生活の支援から看取り看護までを提供しています。

また、季節の行事や地域との交流も大切にしており、利用者が安心して穏やかに暮らせる環境づくりを心掛けており、人と人のつながりを大切にしながら、地域福祉の一旦を担う施設として日々の暮らしに寄り添った支援を続けています。

【事業概要】

令和6年10月より、今帰仁小学校の児童を対象に「朝ごはん提供事業」を開始しました。乙羽園の調理員が施設厨房で調理し、家庭科室にて毎週月曜日の7時30分から8時まで提供しています（祝日・休校日は休止）。児童の健やかな成長、心の安定、社会とのつながりを育むことを目的としています。

※以下写真の掲載につきましては、保護者の方より許可を頂いております。

◆子どもたちや先生・保護者の声◆

利用する子ども達：「朝ごはんが楽しみで早く学校に来たかった」「おいしいからずっと食べたい」



先生方：「朝早く登校する子が増えている、遅刻する児童の減少に繋がっている」。



保護者：「この事業のおかげで助かっていますし、今帰仁村は、とても子育てしやすいですよ」等、地域の支え合いを実感できる場所になっています。



【取組のきっかけ】

乙羽園で勤続15年目を迎えた頃、栄養管理課長の山城さんは、子育てをしながら保護者や先生から「朝ごはんを食べない子ども」「菓子パンに頼る家庭」「午前中から体調がすぐれない児童」といった声を耳にしました。子どもたち自身からも「寝ていたから食べない」といった言葉が聞かれ、成長期における朝食欠食の影響を強く感じました。

「地域で子育てを支える仕組みが必要」との想いが芽生える一方、自身の生活や仕事との両立に葛藤し、「辞めてでもやるしかないのか」と悩みました。しかし理事長に相談すると「法人の成長にも必要な素晴らしい取り組みだ。新しい事業として進めてみなさい」と励まされ、山城さんは決意を固めました。こうして地域の子どもたちへ朝食を提供する新しい事業が始まりました。

▲左：山城さん